



田原市 サーフタウン構想(将来イメージ)

サーフタウン構想とは

- 赤羽根地域を中心に、サーファーをはじめとする若者・子育て世代の移住者を増加させる施策を進めることで、赤羽根地域の活力維持・拡大を図り、田原市全域の持続的な発展へ繋がります。



構想の展開イメージ

定住・移住促進

- 住む場所の確保
- 働く場所の確保
- 情報提供・支援
- まちの魅力向上
- 地域コミュニティの活力向上

サーフィンの活用

- サーフィン環境の向上
- ビッグイベントの誘致
- ライフスタイルの提示
- 拠点エリアの整備

交流人口拡大

- 観光施策との連動
- 観光施設等の充実
- 幹線アクセス向上

サーフオノミクス

- (サーフィンによる経済効果)
- 飲食業の経済効果
- 宿泊業の経済効果
- 地域消費の喚起
- 他分野への波及

【施策展開の方向性】

サーフタウン構想実現

- 《拠点整備 魅力・住み良さの向上》
 - 拠点整備
 - 幹線道路等の整備促進
- 《定住・移住促進》
 - 地域との合意形成
 - 雇用・暮らし等の情報提供
 - 住環境の整備・提供
- 《交流人口拡大》
 - 課題整理・ニーズの調査
 - サーフィン環境の向上
 - イメージ発信強化
 - ビッグイベント誘致

誘客

サーフィン環境向上・拠点整備等費用

サーフィンを活用した経済効果等の向上

- 仕組みづくり
ブランディング、情報発信強化ネットワーク・体制づくり 回遊性の向上 等
- モノ・コトづくり
観光商品開発や農畜水産物を活用した6次産業商品開発、大会誘致によるイベント開催 等
- 人づくり
セミナー、ワークショップ 出前観光教室 座談会、先進地視察 等

サーフタウン基本構想図

A 観光拠点ゾーン

- 観光案内や飲食機能を持つサーファーや観光客の観光拠点
- レストラン ● 観光案内所
- レンタサイクルショップ

B 居住誘導ゾーン

田原赤羽根土地区画整理事業

ウェルカムロード

海の雰囲気や自然の豊かさを感ぜられるロード

- サーフタウンらしい看板、サイン
- 南国風の樹木・花

サーフィンロード

サーフタウンの景観を楽しめるロード

- サーフタウンらしい看板、サイン
- 南国風の樹木・花 ● コンテナショップ・キッチンカー
- ボードウォーク(歩行者ウッドデッキ)
- 駐車場、シャワー、トイレ、休憩所等

D1 自然交流ゾーン(西海岸)

海に近い、憩いと交流の場

- 公園、イベント広場、遊具

B1.2 居住誘導ゾーン

日常に自然が溶け込むサーファー移住推進エリア

- サーファーズハウス
- ※ 街並みなどの景観を統一

D2 自然交流ゾーン(弥八島)

緑に囲まれた潜在的な拠点

- 低層宿泊施設
- キャンプ場、バーベキュー施設
- 散策路 ● 展望施設

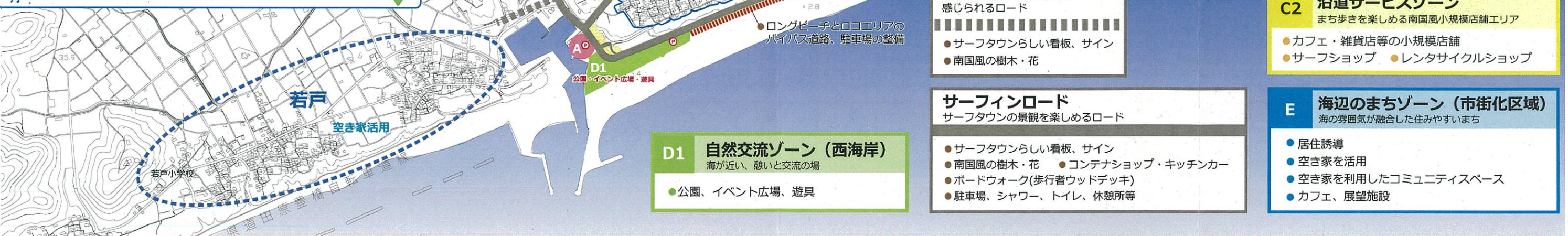
重点整備地区

- サーファーズハウスの宅地開発は、第1期でB1高松町弥八島の開発の検討を進める。
- D2(仮称)弥八島海浜公園の活用について、公募の方向で検討を進める。

【検討の経過・スケジュール等】

- 6月
 - 赤羽根地域コミュニティ連絡協議会で報告(6/22)
- 7月
 - 高松コミュニティ協議会役員会で報告(7/2)
 - 第1回サーフタウン構想検討委員会・検討開始(7/13)
 - 移住サーファーとの座談会(空き家活用 7/13)
 - まち・ひと・しごと創生連携会議(7/19)
 - サーフタウン構想(案)一色住民説明会(7/25)
- 8月
 - まち・ひと・しごと創生本部(8/6)
 - サーフタウン構想(将来イメージ)を市長定例記者会見で公表(8/29)
 - サーフタウン構想イメージ看板お披露目(8/29)
 - 第2回サーフタウン構想検討委員会(8/30)
- 9月
 - 9/15~22 2018アーバンリサーチISAワールドサーフィンゲームス

実施事業の検討



サーフタウン基本構想図における弥八島周辺の将来イメージ 資料No.2-2

H30.8.29市長定例記者会見



- サーフタウン構想イメージ看板設置
- 縦120cm×横200cm。設置場所は(仮称)弥八島海浜公園の入口付近。



● 沿道店舗

